



雪谷の清流

岩手県立軽米高等学校
学校通信42号
令和元年8月28日発行

令和元年度 清掃コンクール 7/26(金) 伝統の全校清掃活動



本校生徒会三大大行事である「清掃コンクール」を7月26日(金)に実施しました。開会式後、普段の清掃では行き届かない窓や壁、フロアのワックス塗布やゴミ箱の清掃を行いました。各クラスとも見違えるほどピカピカに仕上がりました。コンクールとしては、清掃への取組姿勢や各ホームルームの清掃状況結果により順位を決定します。今年度の第1位は、3年2組でした。

2 学年就業体験 (インターンシップ) 7/30(火)~8/1(木)



2年生Aコース22名が7月30日(火)~8月1日(木)までの3日間、就業体験(インターンシップ)を実施しました。軽米町内外の公共機関や事業所16カ所で接客や商品管理、事務仕事や施設管理などを体験し、社会や地域の一員としての意識や自覚を高め、自己の将来設計・進路選択に役立てました。受け入れていただきました事業所の皆様、ありがとうございました。

県内初 3校による遠隔教育課外授業 7/4(木)・7/29(月)・7/30(火)

本校、伊保内高校、大野高校の3校による情報通信技術(ICT)を活用した遠隔授業を実施しました。この事業は、小規模校の教育環境の充実を目的として県教育委員会が推進しているもので、3校による遠隔授業は本県では、初めての試みでした。本校では3年生が英語と国語を受講し、本校教師が数学の講義を発信しました。初日は、画像や音声のトラブルもありましたが、その後改善され、「他校の教師による講義が新鮮であり集中できて良かった。」との感想が生徒からありました。冬季に2回目を予定しています。

(伊保内高校・大野高校に数学を配信する吉田教諭) →



1 学年 夏季特別講座 『軽高未来塾 志プロジェクト』 8/2(金)



本校卒業生小野寺蓮さん(H28 卒)を中心とする大学生7名が講師役となり、8月2日(金)夏季課外の時間を活用し『軽高未来塾 志プロジェクト』を開催しました。講座では、大学生や同級生同士による「進路選択のための情報共有」や「互いの価値観や考え方の意見交換」などの交流プログラムを実施しました。参加した1学年からは「来年もこのような交流会を開催してほしい。」との希望の声もあり、企画した大学生も参加した高校生も充実した講座となりました。また、1学年の講座修了後には、受験の秘訣などを質問にくる3年生もおり、大学生には夕方遅くまで対応していただきました。

1 学年 地元企業訪問ツアー 7/22(月)



7月22日(月)、県北広域振興局主催のこのツアーに1学年が参加しました。見学箇所は、二戸地区合同庁舎(県北広域振興局)と地域の発展・振興のため日々努力、貢献している二戸市内の3事業所です。各事業所の会社説明や県の担当者からの説明を聞き、自己の適性や能力に合った職業選択の大切さを学ぶなど参加した生徒にとって職業意識を高めるよい機会となりました。



1 学年 弘前大学オープンキャンパス 8/10(土)

8月10日(土)、弘前大学オープンキャンパスに1学年が参加してきました。大学生にキャンパス内を案内していただきました。参加した生徒の感想です。「国公立大学に進みたいと考えている私にとって良い経験ができた。もっと様々な大学を見てまわり、志望校を決めていきたい。」「教育学部は在学中にできる実習の多さに指導の充実を感じた。理工学部は研究活動が充実していると思った。」大学の広いキャンパスや学部毎に整備された学舎を実際に見学し、将来の自分たちが学ぶ姿を想像し、進路探究の一助とした1日でした。



1 学年 卒業生が語る会 8/19(月)



8月19日(月)、1学年を対象とした卒業生が語る会を開催しました。紫波警察署勤務の工藤祐司さん(H17 卒)、花の里かるまい勤務の中村泰生さん(H31 卒)、青森公立大学1年生の大鳥直樹さん(H31 卒)の卒業生3名を迎え、進路選択時の悩みや現在の職業を意識したきっかけ、高校生活でこれから何をすべきかなど進学・就職を選択するにあたってのアドバイスや現在の生活の様子について話を伺いました。

1年生にとってこの8月は、大学見学、企業訪問、卒業生や大学生との交流など進路選択に関わる多くの機会を得ることができました。高校初めての夏休みは、暑く短いものだったかもしれませんが、秋に向け大きく成長していくことでしょう。